

社会資本総合整備計画 中間・事後評価

平成30年 3月  
【担当及び関係課】 都市整備局都市機能調整部、道路交通局道路部街路課

計画の名称	広島駅南口地区の再生とにぎわいの創出
計画の期間	平成23年度～平成28年度（6年間）
計画の目標	

広島駅南口B・Cブロック地区において市街地再開発事業を施行し、建築物の不燃化と土地の高度利用を推進して都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生する。また、地区の再生とあわせて歩行者空間を整備し、回遊性の向上とにぎわいの創出を図る。

計画の成果目標（定量的指標）				
①本地区の都市機能を再生し、居住者人口を125人（平成22年度）から約1,600人（平成27年度）に増加させる。 ②本地区の建物の不燃化率（非木造率）を100%にする。				
定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28.12末)	
①居住者人口：住民基本台帳等において確認できるB・Cブロック地区の居住者数 (居住者人口/目標居住者人口、%)	8%	—	100%	
②地区の不燃化率：登記簿等において確認できるB・Cブロック地区の建物の非木造率	75%	—	100%	

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H23	542 百万円	【1-A-1 広島駅南口Bブロック市街地再開発事業】 ・市街地再開発事業を計画どおり実施した。 【1-A-2 広島駅南口Cブロック市街地再開発事業】 ・市街地再開発事業を計画どおり実施した。 【1-B-1 南1区12号線外4路線道路改良事業】 ・計画どおり道路の拡幅、歩道及び電線共同溝等の整備を実施した。 【1-B-2 南1区13号線外2路線道路改良事業】 ・計画どおり道路の拡幅、歩道及び電線共同溝等の整備を実施した。 【1-B-3 南1区駅前吉島線道路改良事業】 ・計画どおり地下歩道の整備を実施した。 【1-C-1 広島駅南口地下広場大型映像装置整備事業】 ・計画どおり大型映像装置を設置した。 【1-C-2 猿猴橋復元整備事業】 ・計画どおり橋の装飾等の復元を実施した。
	H24	5,837 百万円	
	H25	4,401 百万円	
	H26	2,768 百万円	
	H27	7,129 百万円	
	H28	5,390 百万円	
	合計	26,067 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の効果の発現状況	【1-A-1 広島駅南口Bブロック市街地再開発事業】 ・市街地再開発事業を計画どおり実施し、建物の不燃化と都市機能を更新した。 【1-A-2 広島駅南口Cブロック市街地再開発事業】 ・市街地再開発事業を計画どおり実施し、建物の不燃化と都市機能を更新した。 【1-B-1 南1区12号線外4路線道路改良事業】 ・市街地再開発事業に併せ、道路拡幅、歩道及び電線共同溝等の整備を実施し、駅前交通の円滑化や歩行空間の快適性向上が図られた。 【1-B-2 南1区13号線外2路線道路改良事業】 ・市街地再開発事業に併せ、道路拡幅、歩道及び電線共同溝等の整備を実施し、駅前交通の円滑化や歩行空間の快適性向上が図られた。 【1-B-3 南1区駅前吉島線道路改良事業】 ・駅前地下広場（歩道）を拡張し、Bブロックと接続することにより、広島駅南口地区の回遊性を向上することができた。 【1-C-1 広島駅南口地下広場大型映像装置整備事業】 ・大型映像装置を設置し、地下広場の利用者・通行者に多様なコンテンツを提供することにより、にぎわいの創出に寄与した。 【1-C-2 猿猴橋復元整備事業】 ・橋の装飾等を戦前の姿に復元し、魅力ある歩行空間として整備することにより、にぎわいの創出に寄与した。		
目標値の実現状況	指標： 居住者人口：住民基本台帳等において確認できるB・Cブロック地区の居住者数（居住者人口/目標居住者人口、%）	最終目標値（H28末）	100%
	目標値と実績値に差が出た要因	最終実績値（H28末）	9%
要素事業に併せて実施した他事業の効果の発現状況、及び本計画以外に設定した目標値の実現状況	指標： 地区の不燃化率：登記簿等において確認できるB・Cブロック地区の建物の非木造率	最終目標値（H28末）	100%
	目標値と実績値に差が出た要因	最終実績値（H28末）	100%

3. 今後の方針

本市の交通結節点として重要な位置にありながら、老朽建築物が密集して有効な土地利用がなされていない状況にあった広島駅南口地区において、市街地再開発事業を行うことにより、建物の不燃化と土地の高度利用を推進して都市機能を更新するとともに、商業機能の集積及び都心居住の推進を図り、広島市の陸の玄関にふさわしい地区に再生した。  
引き続き、目標達成に向け、居住者人口の動向を注視していく。

4. その他特記事項